



2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月10日

上場会社名 株式会社プラザホールディングス 上場取引所 東
コード番号 7502 URL <https://www.plazacreate.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 大島 康広
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 堤 俊之 TEL 03-3532-8812
四半期報告書提出予定日 2023年8月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	3,853	△8.6	△345	—	△250	—	△274	—
2023年3月期第1四半期	4,217	△16.3	△293	—	△300	—	△321	—

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 △268百万円 (—%) 2023年3月期第1四半期 △314百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	△22.71	—
2023年3月期第1四半期	△26.49	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第1四半期	10,731	1,921	17.9	159.11
2023年3月期	11,681	2,310	19.8	191.30

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 1,921百万円 2023年3月期 2,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	18,000	△5.9	130	41.4	150	25.8	50	—	4.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期1Q	13,836,258株	2023年3月期	13,836,258株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,757,701株	2023年3月期	1,757,701株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期1Q	12,078,557株	2023年3月期1Q	12,143,257株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき算定しており、今後の経済状況等の変化により、実際の業績は予想値と異なる結果となる場合があります。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、T D n e t で開示するとともに、当社ホームページにも掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、新型コロナウイルスの5類への移行により、経済活動の正常化を背景に個人消費の増加や、インバウンド需要の回復など、景気は緩やかに回復の兆しを見せております。

一方、長期化するウクライナ情勢や円安による物価上昇・原材料価格の高騰等により、経済の先行きは不透明な状況にあります。

このような事業環境において、当社グループは引き続き、モバイル事業の継続的成長と、パレットプラザをはじめとしたイメージング事業の新たな収益の柱となる事業の創出に積極的に取り組んでまいりました。

モバイル事業においては、スマートフォンの値上がりによる買い替えサイクルが長期化しております。そのようななかで店舗外での販売イベントを積極的に実施し、販売台数を確保するとともに、イベントにかかる人員の内製化を進めることで販売費及び一般管理費を抑制しました。

しかし、前連結会計年度を通じて行った店舗の統廃合で店舗数が減少したことによる減収を吸収するまでには至りませんでした。

また、店舗の在り方も見直し、スマートフォン以外の商材/サービスの提案や店舗内での高齢者向けにスマートフォンの使い方教室を開催するなど、販売後の利用サポートで地域に根付いた店舗作りに取り組んでおります。

なお、当第1四半期連結累計期間末における店舗数は、87店舗となっております（前連結会計年度末89店舗、前第1四半期連結累計期間末107店舗）。

デジタルデバイスや周辺ソリューションへの企業ニーズが高まってきていることから、法人営業部門の人員を拡充し、当社の店舗に来店される法人顧客に対しましては、端末の販売に加え、企業のDX推進をサポートしてまいりました。

以上の結果、モバイル事業の業績は、減収、赤字額の縮小となりました。

イメージング事業におきましては、「パレットプラザ」内でiPhone修理関連サービスとして、「液晶コーティング」サービスを導入し、セット提案による単価アップを推進いたしました。

グランピング事業の新拠点「THE GLAMPING PLAZA 伊勢志摩BASE」を開業いたしました。収益貢献するには至っておりません。

なお、パレットプラザの店舗数は、当第1四半期連結累計期間末には、フランチャイズ店舗182店、直営店舗20店となりました（前連結会計年度末フランチャイズ店舗190店、直営店舗は22店、前第1四半期連結累計期間末フランチャイズ店舗234店、直営店舗は10店）。

「One-Bo（ワンボ）」という“オンライン会議のための個室空間”パーソナル・ミーティング・ボックスの販売実績は、テレワークからオフィス出社へ回帰が進むなかでもオンライン会議が定着したことにより好調に推移しております。引き続き販売体制と製品増産体制の構築を強化してまいります。

前第1四半期連結累計期間末と比較して、パレットプラザのフランチャイズ店舗の減少に伴う卸売上高の減少、パレットプラザ直営店が一時的に増加したことに伴う固定費の増加及び、新規事業（グランピング事業及びアパレル事業）で当第1四半期連結累計期間から発生した固定費を回収できず、イメージング事業の業績は、減収、減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間における売上高は、38億53百万円（前年同期比8.6%減）となり、営業損失3億45百万円（前年同期：営業損失2億93百万円）、経常損失2億50百万円（前年同期：経常損失3億円）、親会社株主に帰属する四半期純損失2億74百万円（前年同期：親会社株主に帰属する四半期純損失3億21百万円）となりました。

当第1四半期連結累計期間のセグメント別における概況と業績は次のとおりであります。

①イメージング事業

当第1四半期連結累計期間のイメージング事業においては、店舗数の減少及び新規事業での当第1四半期連結累計期間から発生した固定費回収ができず、売上高は6億66百万円（前年同期比3.4%減）、セグメント損益は1億86百万円の損失（前年同期：1億37百万円の損失）となりました。

②モバイル事業

当第1四半期連結累計期間のモバイル事業においては、前連結会計年度を通じて行った店舗の統廃合で店舗数の減少などにより、売上高は31億87百万円（前年同期比9.7%減）、一方のセグメント損益は、1億97百万円の損失（前年同期2億4百万の損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期連結会計期間末の総資産の額は107億31百万円となり、前連結会計年度末に比べ9億50百万円の減少となりました。主な要因は、受取手形及び売掛金が6億円、その他流動資産が4億68百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間末の負債の額は88億9百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億61百万円の減少となりました。主な要因は、短期借入金が増加し、支払手形及び買掛金が5億29百万円、賞与引当金が59百万円それぞれ減少したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期連結会計期間末の純資産の額は19億21百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億88百万円の減少となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純損失2億74百万円、配当金の支払額1億20百万円により利益剰余金が3億95百万円減少したことなどによるものであります。また、当第1四半期連結会計期間末における自己資本比率は、前連結会計年度末の19.8%から17.9%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年5月12日に公表いたしました連結業績予想の現時点における修正はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,172,613	1,381,847
受取手形及び売掛金	1,834,685	1,234,148
商品及び製品	2,406,858	2,301,574
原材料及び貯蔵品	216,841	259,462
貸倒引当金	△18,058	△18,058
その他	1,178,566	710,309
流動資産合計	6,791,507	5,869,283
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,218,582	2,274,893
減価償却累計額	△1,102,817	△1,080,612
建物及び構築物（純額）	1,115,764	1,194,280
機械装置及び運搬具	749,132	740,367
減価償却累計額	△657,473	△654,485
機械装置及び運搬具（純額）	91,659	85,881
土地	1,511,248	1,511,248
リース資産	1,208,969	1,199,653
減価償却累計額	△1,117,535	△1,113,394
リース資産（純額）	91,434	86,259
その他	1,002,854	845,605
減価償却累計額	△573,860	△574,730
その他（純額）	428,994	270,874
有形固定資産合計	3,239,102	3,148,545
無形固定資産		
のれん	121,586	109,356
リース資産	23	16
その他	161,572	163,438
無形固定資産合計	283,182	272,811
投資その他の資産		
敷金及び保証金	1,187,143	1,158,336
その他	192,701	294,371
貸倒引当金	△12,290	△12,290
投資その他の資産合計	1,367,555	1,440,418
固定資産合計	4,889,839	4,861,774
資産合計	11,681,346	10,731,058

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,518,767	988,960
短期借入金	3,180,803	3,267,703
リース債務	55,262	42,947
未払法人税等	5,694	1,423
賞与引当金	118,270	58,580
その他	695,650	639,876
流動負債合計	5,574,449	4,999,491
固定負債		
長期借入金	3,321,992	3,367,891
リース債務	76,229	68,551
退職給付に係る負債	37,680	37,680
資産除去債務	148,035	141,860
長期預り保証金	179,641	163,176
その他	32,668	30,543
固定負債合計	3,796,247	3,809,703
負債合計	9,370,697	8,809,194
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	1,228,496	1,228,496
利益剰余金	1,588,311	1,193,184
自己株式	△609,610	△609,610
株主資本合計	2,307,197	1,912,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,452	9,793
その他の包括利益累計額合計	3,452	9,793
純資産合計	2,310,649	1,921,864
負債純資産合計	11,681,346	10,731,058

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	4,217,048	3,853,404
売上原価	2,869,380	2,623,551
売上総利益	1,347,668	1,229,853
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費及び販売促進費	162,948	149,453
給料手当及び賞与	542,255	493,011
賞与引当金繰入額	63,056	58,244
雑給	35,643	40,393
賃借料	230,747	206,634
支払手数料	343,138	315,955
のれん償却額	16,787	12,229
その他	246,325	299,371
販売費及び一般管理費合計	1,640,902	1,575,294
営業損失(△)	△293,234	△345,440
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,333	1,083
協賛金収入	28	160
償却債権取立益	1,500	16,994
為替差益	2,867	—
助成金収入	897	80,897
その他	8,430	13,193
営業外収益合計	15,056	112,328
営業外費用		
支払利息	14,190	13,695
為替差損	—	3,313
その他	8,296	276
営業外費用合計	22,487	17,285
経常損失(△)	△300,664	△250,397
特別利益		
固定資産売却益	0	8,554
特別利益合計	0	8,554
特別損失		
減損損失	16,840	31,610
店舗閉鎖損失	2,650	1,625
特別損失合計	19,490	33,236
税金等調整前四半期純損失(△)	△320,155	△275,079
法人税、住民税及び事業税	1,556	1,423
法人税等調整額	△46	△2,161
法人税等合計	1,510	△738
四半期純損失(△)	△321,665	△274,341
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△321,665	△274,341

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純損失(△)	△321,665	△274,341
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	7,618	6,340
その他の包括利益合計	7,618	6,340
四半期包括利益	△314,047	△268,000
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△314,047	△268,000
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	689,190	3,527,858	4,217,048	4,217,048	—	4,217,048
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	689,190	3,527,858	4,217,048	4,217,048	—	4,217,048
セグメント利益又は損 失(△)	△137,081	△204,620	△341,701	△341,701	48,467	△293,234

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額48,467千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△69,882千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額118,350千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄及び退店を決定した店舗等の固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、前第1四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において9,978千円、「モバイル事業」において6,861千円です。

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	イメージング 事業	モバイル事業	計			
売上高						
外部顧客への売上高	666,053	3,187,351	3,853,404	3,853,404	—	3,853,404
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	666,053	3,187,351	3,853,404	3,853,404	—	3,853,404
セグメント利益又は損 失(△)	△186,878	△197,914	△384,792	△384,792	39,352	△345,440

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額39,352千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△74,207千円及び当社とセグメントとの内部取引消去額113,559円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

当社グループは、廃棄及び退店を決定した店舗等の固定資産について帳簿価額を回収可能価額まで減損し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。なお、当第1四半期連結累計期間の当該減損損失の計上額は、「イメージング事業」において5,181千円、「モバイル事業」において26,429千円であります。